

ITU-R SG3関連会合（令和3年4月） の議論の報告（案）

ITU-R SG3関連会合 開催概要

開催期間	2021年4月26日（月）～4月29日（木）
開催場所	e-Meeting
概要	20か国、15機関から124名（うち、我が国からは10名）が出席し、3つのWP会合宛に合計119件の寄与文書が入力された。

我が国から入力した寄与文書について

入力先 WG	題目	議題	提供元
3J/3K/ 3M	ITU-R勧告P.1409-1の暫定改訂案に向けた作業文書	-	ソフトバンク(株)
	ITU-R勧告P.2108の改訂提案	-	ソフトバンク(株)
	ITU-R勧告 P.833-9 の改訂提案	-	ソフトバンク(株)
	建物侵入損のsite-specificモデルのための測定結果（または計画）に関する議論文書	-	ソフトバンク(株)
3K/3M	クラッター損失の測定結果	-	ソフトバンク(株)
3J/3K/ 3M	ITU-R勧告P.1410-5の改訂提案	-	ソフトバンク(株)
	WP5Dへの返答リエゾン文書案	1.4	ソフトバンク(株)

① WP3J/3K/3M宛のリエゾン文書への回答【WP3J/3K/3M】

WP3JではWP1A(研究課題237/1)、WP7C、WP3KではTG6/1(議題1.5)、WP5B(議題1.10)、WP5A(研究課題256/5)、WP3MではWP5D(議題1.4)、WP4C(議題9.1b、議題1.18)、WP5B(議題1.10)からのリエゾン文書に関して議論が行われた。このうちWP1A、TG6/1、WP4C(議題9.1b)、WP5Bへの返答リエゾン文書が作成、提出された。その他は議論が持ち越された。

② ITU-R勧告P.833(植生による減衰)の改訂に向けた検討【WP3J】

森林環境における季節特性を考慮したスラントパスモデル及びサイトジェネラルモデルを提案した我が国の改訂案と、様々な種類の1本の樹木における季節特性を考慮したモデルを提案した米国寄書に関する議論が行われた。両文書ともITU-R勧告P.833の暫定改訂案に向けた作業文書に追加され、作業文書が出力された。

③ ITU-R勧告P.1410(陸上広帯域ミリ波アクセスシステムの伝搬データと予測方法)の改訂に向けた検討【WP3K】

HAPS/HIBS用の6GHz以下の都市部における伝搬モデルの追加を提案している我が国のITU-R勧告P.1410-5の改訂案に関する議論が行われた。本文書をもとに、豪州の提案により文末に他の勧告(ITU-R勧告P.528、ITU-R勧告P.2108)と比較してモデルを検証することを推奨するとのコメントが追記され、本勧告の将来的な改訂のための作業項目に関する文書が出力された。

④ ITU-R勧告P.1409(HAPS等のデータ伝搬と予測方法)の改訂に向けた検討【WP3M】

CG3J-3K-3M-14の活動報告及び露国寄書にもとづき、本会合ではITU-R勧告P.1409-1の干渉検討用のモデルの改訂に注力し、HAPS-ground/space/aeronauticalの3つの干渉シナリオを本勧告の暫定改訂案に記載するとして、各シナリオに関する要因とそれらの伝搬損失に関する議論が行われた。議論の結果、本勧告の暫定改訂案[に向けた作業文書]が出力された。

我が国の本勧告の暫定改訂案に向けた作業文書に関する議論が行われた。本文書をもとに干渉検討用のモデルに加えてシステムデザイン用のモデルの改訂を提案した本勧告の将来的な改訂に向けた作業文書が出力された。

⑤ ITU-R勧告P.2108(クラッター損失の予測)の改訂に向けた検討【JSWG Building Entry Loss and Clutter】

ITU-R勧告P.2108-0の地上パスのためのクラッター損失モデルの適用周波数下限値を500MHzまで引き下げること及びモデルの改訂を提案したCG-3K-3M-12の活動報告に関する議論が行われた。本文書をもとに本勧告の暫定改訂案に関する文書が出力された。

本勧告にHAPS/HIBSのためのクラッター損失モデルを追加することを提案した我が国からの改訂案に関する議論が行われた。次回会合でも議論を継続するために議長報告に添付されることとなった。本会合で作成された修正版が議長報告に添付されることが提案されたが、修正版は添付されず、議長報告には修正された旨が記載され、また修正版をCGに送付し次回会合で議論することとなった。

【参考】WRC-23議題一覧

		Responsible Group (責任グループ)	Contributing Group (SG3関係)
議題1.1	4800-4990 MHzにおける国際空域及び公海における航空、海上業務無線局の保護の検討と脚注5.441Bのpfd要件の見直し	WP 5B・WP 5D	WP3K/3M
議題1.2	3300-3400 MHz、3600-3800 MHz、6425-7025 MHz、7025-7125 MHz及び10.0-10.5 GHz帯における移動業務への一次分配を含むIMT特定の検討	WP 5D	WP3K/3M
議題1.3	第一地域における3600-3800 MHzの移動業務への一次分配の検討	WP 5A	WP3K/3M
議題1.4	2.7GHz以下のIMT特定された周波数帯におけるIMT基地局としての高高度プラットフォームステーション(HIBS)利用の検討	WP 5D	WP3K/3M
議題1.5	第一地域における470-960 MHz帯の既存業務の周波数利用と周波数需要の見直しとこれに基づく規則条項の検討	TG 6/1 (SG 6)	WP3K/3M
議題1.6	準軌道飛行体の無線通信のための規制条項の検討	WP 5B	WP3M
議題1.7	117.975-137 MHzにおける地球から宇宙及び宇宙から地球の双方向への航空移動衛星業務(AMS(R)S)への新規分配の検討	WP 5B	WP3M
議題1.8	無人航空システムの制御及び非ペイロード通信による固定衛星業務の利用のための決議155 (WRC-15改) 及びRR 5.484Bの見直しと適切な規則条項の検討	WP 5B	-
議題1.9	航空移動業務に割り当てられたHF帯における民間航空の人命保護のためのデジタル技術の導入とアナログシステムとの共用のためのRR付録27の見直しと規制条項の検討	WP 5B	WP3L/3M
議題1.10	非人命保護用途の航空移動アプリケーションのための航空移動業務への新規分配のための研究の実施	WP 5B	WP3K/3M
議題1.11	海上における遭難及び安全に関する世界的な制度(GMDSS)近代化及びe-navigation実施のための規則条項の検討	WP 5B	-
議題1.12	45 MHz帯衛星搭載レーダーサウンダーのための地球探査衛星業務(能動)への新規二次分配のための検討の実施	WP 7C	WP3K/3L/3M
議題1.13	14.8-15.35 GHz帯に二次分配されている宇宙探査業務の一次分配への格上げの検討	WP 7B	WP3M
議題1.14	現代のリモートセンシング観測の要求に則った231.5-252 GHz帯における地球探査衛星業務(受動)に係る既存分配の見直しと新規分配の検討	WP 7C	WP3J/3M
議題1.15	固定衛星業務の静止軌道衛星局と通信する航空機及び船舶上の地球局による12.75-13.25 GHz帯(地球から宇宙)の利用の調和	WP 4A	WP3M
議題1.16	非静止軌道における固定衛星業務の移動する地球局による17.7-18.6GHz、18.8-19.3 GHz及び19.7-20.2 GHz (↓)並びに27.5-29.1 GHz及び29.5-30 GHz (↑)の使用のための研究及び技術・運用・規則面の手段の検討	WP 4A	WP3M
議題1.17	特定帯域における衛星間リンクの規則に対する衛星間業務への分配追加による適切な規則条項の決定と実施	WP 4A	WP3M
議題1.18	狭帯域移動衛星システムの発展のための移動衛星業務の周波数需要及び新規分配の検討	WP 4C	WP3M
議題1.19	第二地域における17.3-17.7 GHz帯の宇宙から地球方向の固定衛星業務への新規一次分配の検討	WP 4A	WP3M
議題9.1	a) RRにおける適切な認知と保護という観点での宇宙天気センサに関する技術、運用面の特徴、周波数要求、適切な無線業務の研究の見直し	WP 7C	WP3J/3K/3L/3M
	b) 同一の周波数で運用されている無線航行衛星業務(宇宙から地球)の保護を確実にするための追加的手段の必要性の決定のための1240-1300 MHz帯のアマチュア業務及びアマチュア衛星業務の見直し	WP 5A	WP3M
	c) 固定業務に一次分配された周波数帯での固定ワイヤレスブロードバンドのためのIMTシステムの利用の研究	WP 5A・WP 5C	-
	d) 36-37 GHzにおけるNGSO宇宙局からのEESS保護	WP 7C	-